

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
1	水槽付消防ポンプ自動車更新事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	水槽付消防ポンプ自動車（水－Ⅱ型） 1 台		
総事業費（千円）	4 1, 8 9 5	交付金充当額（千円）	3 7, 0 0 0
交付金事業の成果及び評価	<p>本市は、消防本部を核に1消防署、1分遣所、消防団本部、13分団の消防防災体制を整えており、消防施設等については、消防施設整備事業に基づき整備し、住民の災害等に対する不安を払拭し、安全安心なまちづくりを目指している。</p> <p>これまで消防署に配備されていた水槽付消防ポンプ自動車は、排気量7,410cc、総重量7,590kg、乗車定員6名のミッション車で、ポンプ性能はA-2級である。</p> <p>この水槽付消防ポンプ自動車は、初年度登録が平成5年度で、既に17年目を迎えようとしており、経年劣化の様相は否めず次のような状態が発生し、消防活動に支障をきたしていた。</p> <p>①緊急走行時、ハンドル及び車体のブレが発生する。 ②ポンプ本体の老朽化・経年劣化等で、高圧放水が困難である。 ③自動真空ポンプ装置スイッチの作動不良が発生する場合がある。</p> <p>そのため、平成23年2月に水槽付消防ポンプ自動車を更新した。更新した車両は、乗車定員が6名、ポンプ性能はA-2級、自動揚水ができる最新型であるとともに、消火薬剤を自動で混合できる自動泡混合システム装置を搭載し、操作が簡単なオートマチック車である。</p> <p>更新後これまで火災及び救助等に7回出動、火災防御訓練等を18回実施、点検及び水利調査等に18回使用している。</p> <p>今回、水槽付消防ポンプ自動車を更新したことにより、老朽化の不具合が解消され、火災現場での消火活動が迅速、且つ的確に行えるようになった。また、自動泡混合システム装置を取り付けたことにより、普通火災はもとより小規模危険物火災にも対応できようになり、複雑多様化する災害に対する順応性及び消防力が強化され、消防防災体制がより充実したことにより、住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	水槽付消防ポンプ自動車購入	指名競争入札	(株)ヨシキ
			契約金額（千円） 4 1, 8 9 5
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
消防車両の計画的な更新整備等は、消防力の維持・強化につながり、住民の安心安全の確保を図るためには必要不可欠な事業であると考えます。			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
2	CPRトレーニングシステム一式整備事業		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市消防本部 いちき串木野市昭和通 133 番地 1		
交付金事業の概要	CPRトレーニングシステム一式 2式 (CPR訓練人形本体、AEDトレーナー、付属品一式)		
総事業費 (千円)	616	交付金充当額 (千円)	500
交付金事業の成果及び評価	<p>本市では、平成 12 年に応急手当普及実施計画を定め、救急車到着までの間に的確な応急手当が実施できるよう、人口の約 10%にあたる約 3,300 人の市民が普通救命講習 (3 時間講習) を受講することを目標に、応急手当普及推進に取り組むとともに、住民が多く立ち寄る施設又は勤務する施設への AED 設置を促進し、心肺停止による突然死から住民の尊い命を守ることで、住民が安心・安全に暮らせるまちづくりを目指している。</p> <p>平成 16 年 7 月から一般住民による自動体外式除細動器 (以下「AED」という。) の使用が認められたことにより、住民の応急手当に対する関心は深まっており、最近の普通救命講習会の受講者は、平成 19 年度が 19 回で 301 人、20 年度が 27 回で 504 人、21 年度が 34 回で 551 人と増加傾向にある。また、21 年度の普通救命講習以外の短時間講習を 551 人の住民が、AED トレーナー等を用いた講習を受講している。また、市内の事業所や公共施設等への AED 設置も進み、平成 22 年 3 月末現在 67 施設に AED が設置されている。</p> <p>これまで本市が保有していた 7 体の内 3 体の CPR 訓練人形は平成 6 年に購入したもので、人工呼吸の吹込み量 (800~1,200ml)、心臓マッサージの圧迫の強さ及び位置を示すインジケーター (3.5 cm~5cm) が旧心肺蘇生ガイドラインに基づくものであるため、2005 年に改正された新心肺蘇生ガイドラインに基づく人口呼吸の吹込み量 (約 500ml)、心臓マッサージの圧迫の強さ (4 cm~5 cm) 及び位置を示すインジケーターに適合していない。また、購入以来 15 年が経過し、各種部品の老朽化によりインジケーターが故障して使用できないうえ、人形の胸の硬さが様々なため、心臓マッサージを行う際に圧迫の加減が異なるという状態が発生しており、講習の実効性に欠けている状況であった。</p> <p>そのため、2 ヶ年で 6 式整備する計画で平成 21 年度に 4 式整備したところであり、平成 22 年度は CPR 訓練人形本体、AED トレーナー及び付属品一式から構成される CPR トレーニングシステムを 2 式整備した。</p> <p>整備後これまで応急手当指導 10 回、普通救命講習会 18 回実施しており、受講者数が合計 552 人となっている。また、取扱訓練等でも 40 回使用している。</p> <p>CPR トレーニングシステムを整備したことにより、質の高い効果的な普通救命講習が可能となり、受講者も増加した。また AED の普及と合わせることで、住民の救命に対する意識の向上、救命率の向上及び住民の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	CPR トレーニングシステム一式購入	指名競争入札	(株)いすゞ医科器械
			契約金額 (千円) 616
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
3	市道土佐・平江線道路改良工事		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市元町外地内		
交付金事業の概要	<p>工事延長 L=272.90m</p> <p>排水路工 街路型 300 側溝 (縦・横断) L=130.00m</p> <p>300 型縦断用側溝 L=9.0m R-300 型横断暗渠工 L=17.00m</p> <p>舗装工 車道 アスファルト舗装 t=50 mm A=1,430.00 m²</p> <p>歩道 アスファルト舗装 t=40 mm A=342.00 m²</p> <p>車道(取付) アスファルト舗装 t=40 mm A=177.00 m²</p>		
総事業費 (千円)	14,700	交付金充当額 (千円)	14,000
交付金事業の成果及び評価	<p>市道土佐・平江線は、本市でも人口密度の高い中央地区に位置し、周辺には商店街、寺院、歯科医院、保育園及び公園等が近接していることから、地域内外の住民が利用する道路であり、地域住民等の生活に重要な役割を果たしている。</p> <p>本路線は昭和 40 年代に整備しているため、路面の老朽化によるヒビ割れや凸凹がひどく、車両等の円滑な走行が妨げられ、車両通行の際の騒音や振動が生じている。また、道路と歩道に段差があるため、高齢者等が安心して通行できないなど地域住民等の生活に支障をきたしている。</p> <p>本路線の改良工事は、当初 2 ヶ年で工事延長 272.9m の区間において、側溝を 389.0m 取り替えて、歩道の整備も含めたアスファルト舗装を 2,259.0 m² 行う計画で、平成 21 年度に側溝を 230.0m 取り替えて、歩道及び取付部分の舗装を 307.0 m² 行ったところである。</p> <p>今回、平成 21 年度事業の実績に伴い全体計画の見直しを行ない、平成 22 年度については工事延長 272.9m の区間において、側溝を 156.0m 取り替えて、車道 1,430.0 m²、歩道 342.0 m²、取付部分 177.0 m² のアスファルト舗装を実施し、平成 22 年 12 月に完成した。</p> <p>本工事の実施により、車両が安全に走行できるようになるとともに、車両通行の際の騒音や振動なども抑えられ、また、歩行者の安全な通行ができるようになり、地域住民等の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	市道土佐・平江線道路改良工事	条件付一般競争入札	(株)西別府弘組
			契約金額 (千円)
			14,700
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			

事業評価個表

番 号	交付金事業の名称		
4	市道照島校線道路改良工事		
交付対象都道府県又は市町村その他の名称	いちき串木野市		
交付金事業実施場所	いちき串木野市酔之尾地内		
交付金事業の概要	工事延長 L=214.70m 排水路工 落蓋側溝 300 型（縦断用）L=297.00m 落蓋側溝 300 型（横断用）L=20.00m 舗装工 車道 アスファルト舗装 t =40 mm A=790.00 m ² 路盤工(下層・上層) A=790.00 m ²		
総事業費（千円）	1 3, 1 7 8	交付金充当額（千円）	1 3, 1 3 0
交付金事業の成果及び評価	<p>市道照島校線は、小学校のスクールゾーンに指定され、また周辺には住家が近接しており、学童や地域内の住民も利用する道路であり、通学や地域住民の生活に重要な役割を果たしている。</p> <p>本路線は昭和 40 年代に整備しているため、路面の老朽化が著しく進行し、ひび割れや凸凹がひどく、側溝も割れている状態である。そのため、車両等の円滑な走行が妨げられ、通行の際の騒音や振動が生じている。</p> <p>また、側溝が割れたことによる路肩の劣化や排水のつまりなどが生じ、学童など歩行者の安全な通行が妨げられるなど、通学や地域住民の生活に支障をきたしている。</p> <p>このようなことから、工事延長 214.7m の区間において、側溝を 317.0m 取り替えて、アスファルト舗装を 790.0 m² 実施し、平成 23 年 3 月に完成した。</p> <p>本工事の実施により、車両が安全に走行できるようになるとともに、通行の際の騒音や振動なども抑えられ、また、学童など歩行者の安全な通行ができるようになり、地域住民等の安心安全の確保に資するものと評価する。</p>		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方
	市道照島校線道路改良工事	条件付一般競争入札	久木園建設㈱
			契約金額（千円） 1 3, 1 7 8
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
特に予定なし			
本事業に来年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業は本年度で完了			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度			
特に予定なし			